

市民意識調査「結婚差別」 現在も問題となっていると思う56.4%

「結婚差別」とは

- ①「部落」であることを理由として婚姻が不成立に終わること。
- ②婚姻が成立したあとも種々の圧力を加えられること。

日隈市議は、市内に住む60代の女性から「結婚差別」を目にした経験聞いたことを紹介。その女性は「40年前、私が嫁いだ町内に住む夫婦が被差別部落出身

の全国調査の結果も示し、「部落をこえた結婚が増え、部落ということにこだわらないという状況が進んでいる」と指摘。市民意識調査の問27で「仮に、あなたが結婚しようとする相手か、被差別部落出身の人であるかわかった場合、あなた

の人であることを理由に陰口を言われ、それに耐えきれず引越した」と語り、「なんで町内の人がある差別をするのか全く理解できなかった」と当時のことを思い出して話します。

日隈市議は総務庁の全国調査の結果も示し、「部落をこえた結婚が増え、部落ということにこだわらないという状況が進んでいる」と指摘。市民意識調査の問27で「仮に、あなたが結婚しようとする相手か、被差別部落出身の人であるかわかった場合、あなた

は、どうしますか」と聞いています。日隈市議は「被差別部落や被差別部落出身者が今なお存在し、問題となっていると市民に広めることになりかねない」と設問の問題点をただしました。

子ども支援拠点 子どもの意見は反映されるのか

子ども支援拠点の役割と子どもの意見を反映するための取り組みについて質問。市長は「現場で、子どもたちの意見を聞いていくことが大切だ」と答えました。

日隈市議は「子ども基本法が今年6月に国会で成立した。子ども支援拠点をつくるにあたり、子どもの意見を反映するための取り組みは、どうなっているか」と質問。部長は「子どもの意見を聞く機会をつくる必要がある。そのため、関係する方々のご意見を伺いながら、体制を整えていきたい」と答えました。

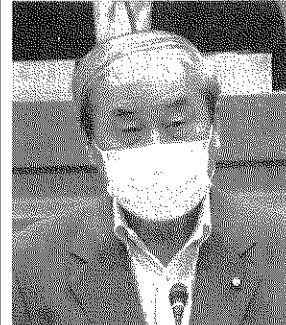
日隈市議は「市長は、必要な最低の議論は尽くされた、歩みながら走りながらすすめていくと答えました。子どもの意見を聞くことは今まで一回もやっていない。

子ども支援拠点の役割と子どもの意見を反映するための取り組みについて質問。市長は「現場で、子どもたちの意見を聞いていくことが大切だ」と答えました。

日隈市議は「子ども基本法が今年6月に国会で成立した。子ども支援拠点をつくるにあたり、子どもの意見を反映するための取り組みは、どうなっているか」と質問。部長は「子どもの意見を聞く機会をつくる必要がある。そのため、関係する方々のご意見を伺いながら、体制を整えていきたい」と答えました。

日隈市議は「市長は、必要な最低の議論は尽くされた、歩みながら走りながらすすめていくと答えました。子どもの意見を聞くことは今まで一回もやっていない。

花月川右岸の浸水対策を求め



「排水ポンプ、調整池で浸水軽減」と答弁

大谷市議は、浸水シミュレーションの結果と対策について質問。上下水道局長は「今年度、雨水管理総合計画を策定し、令和7年度以降に設計に着手する」と答弁しました。

大谷市議は、浸水排水ポンプ施設(6ヶ所)の設置、雨水幹線シミュレーションの結果と対策について質問。上下水道局長は「花月川右岸の対象地区で、日田市の時間当たり65・7ミリの降雨計画と平成29年の時間降雨84ミリで浸水深の解析をした。比べると45cm以上の浸水地域が84ミリで約2倍の面積となる」と答弁。対策として「雨水調整池の設置(3ヶ所)、整備水準、施設等の基本的な事項を定める。令和6年に事業実施に向けた下水道の事業計画変更を行ない、令和7年度に設計

河川改修で豆田の2橋を架け替え



仮橋、迂回路、豆田地区への影響を質問

国は河川改修に伴う、7月に完成させたいと一新橋と御幸橋の架け替えを交互に行い、仮橋はかけないと説明していましたが、大谷市議は「交通量の調査はどうか。また豆田など地域の影響についてどう考えているか」と質問。部長は「国は調査を今月中に着手し、来年

大谷市議は「渡里川にかかる橋の架け替えは迂回路が必要になる。狭く課題がある」と指摘し、対応について検討を求めました。

持続化給付金の受給者で 公営住宅入所者は家賃に影響

市への申請で減額の可能性も

新型コロナウイルスの影響を受けた事業者向け持続化給付金などを受給した人で、公営住宅に入居している人は、住宅家賃の増額の可能性がある。大谷市議は「一時的な収入にあたり家賃に反映すべきでない」と関係者に知らせ

市は「入居者から持続化給付金などを受給した人があつた場合は、対象所得から控除して家賃を算定しなす。給付金の取り扱いについては知らせる」と答弁しました。市は関係者に案内の通知を出しました。